



ひがしよか納涼ふれあい寄席

蝶花楼桃花 独演会

出演/蝶花楼 桃花(ちょうかろう ももか)

日時 **7月23日(日)** 開場13:30
開演14:00

会場 **東与賀文化ホール**

自由席 一般 2,500円 ※消費税込
大学生以下 1,500円 ※未就学児童の入場はご遠慮ください。
(託児サービスはございません。)



プロフィール

女流落語の歴史を変える?とも噂される、若手噺家のホープ。
春風亭小朝に入門。春風亭ぼっぼとして前座修行を開始する。
二ツ目・春風亭びっくり☆時代に「浅草芸能大賞」新人賞を受賞。「NHK新人落語大賞」では3度にわたって決勝に進出する。

10日間連続独演会、全国ツアー、海外公演など若手としては異例づくしの落語活動を展開し、「笑点」若手大喜利・女流大喜利をはじめとするテレビ出演や、ラジオ番組のパーソナリティも多数。女優として明治座「ふるあめりかに袖はぬらさじ」(主演・大地真央)など舞台公演、沖縄国際映画祭出品作品「耳かきランデブー」(主演)など映画にも出演する。

2022年3月、待望の真打昇進。これを機に高座名を「蝶花楼桃花(ちょうかろう・ももか)」と改め、七代目・蝶花楼馬楽の没後途絶えていた歴史ある亭号を復活させる。

都内5軒の寄席で開かれた昇進披露興行、昇進から史上最速4か月で抜擢の初主任興行(浅草演芸ホール)はいずれも大入りを記録。9月には女性落語家として史上初めて、人気番組「笑点」のレギュラー大喜利に出演、話題を呼ぶ。

上手い、可愛い、華がある〜と、三拍子そろった「寄席のプリンセス」。

プレイガイド 東与賀文化ホール、佐賀市文化会館

佐賀玉屋

ローソンチケット

各スロット及びローソン各店

チケットぴあ

各スロット及びセブンイレブン各店(Pコード:518-880)

主催 公益財団法人佐賀市文化振興財団

お問い合わせ 東与賀文化ホール

☎ 0952-45-3939

通信員ニュース

「子どもクラブなわとび大会」

桃の節句を過ぎ、ようやく春めいてきた3月5日の日曜日、東与賀子どもクラブ育成会連絡協議会と東与賀公民館との共催による「令和4年度東与賀子どもクラブなわとび大会」が小学校体育館にて開催されました。各地区子どもクラブから、子ども40名と大人35名が参加し、団体なわとび、リレーなわとび、ペアなわとび、個人なわとびの4種目で競い合いました。

ペアなわとび、個人なわとびの小学校低学年の部(1~3年生)には幼稚園児の参加もあり、上位に入賞するなど、小学生に交じって競争し合っている姿がとても印象的で感動しました。また、子ども達だけではなく、大人も童心に帰り競技に参加や応援をしたりと、とても楽しい時間を過ごしました。



全種目の得点を合計した結果、総合優勝は田中子どもクラブが獲得しました。団体なわとびでは下古賀子どもクラブ、立野子どもクラブ、住吉子どもクラブの合同チームが優勝しました。

親子で楽しみ挑戦する気持ちや、競い合い入賞した喜びが感じられ、みんなで応援し合って笑顔がふれる素晴らしい大会でした。来年度の大会にはもっとたくさんの子も達に参加してくれる事を願っています。(森田)

「東与賀の歴史」

4月から「まちかど通信員」を務める下飯盛の彌富と申します。皆様方から情報提供やご助言をいただきながら、東与賀の歴史や文化、行事等を紹介できればと考えています。

佐賀平野は自然陸化と干拓によって出来上がったと言われますが、東与賀が現在の姿になったのはいつごろなのでしょう。近世以前の干拓は元寇直後の13世紀末頃に遡り、それから300年後の戦国末期には現在の国道444号線のライン、東与賀では作出、住吉、大野辺りまで進み、この時点で東与賀北部の村落は既に形成されていました。1647年の「正保肥前国絵図」(しょうほうひぜんくにえず)には、立野、実久、下古賀、下飯盛、田中の5村が石高を含めて記載されています。佐賀藩独自の「地方知行制」により多くの配分地があった中で、この地域は本藩直轄の蔵入り地として重視されていました。

干拓地は寛文年間(1660年頃)には松土居まで拡がり、その後も佐賀藩の殖産興業機関である「六府方」の一部局の「搦方」の指導援助のもと、筋頭を中心とした地道で比較的小規模の干拓地が数多く造成されました。明治時代に入って大規模な大搦や授産社搦(約137ヘクタール)が出来上がり、昭和9年には大授搦(313ヘクタール)が耕地化し、更に、昭和37年の第2戊申搦(55ヘクタール)の完成により現在の東与賀が出来上がりました。(彌富)

